

公益法人らくらく会計 C4 の Q&A

[有限会社シンシステムデザイン](#)

パソコンで会計処理をするメリットは？

”らくらく会計”では、繰越金（導入時のみ）・予算（毎年）・伝票（日常業務）を入力するだけで、予算書、仕訳伝票、仕訳日記帳、総勘定元帳、試算表、月別集計表、決算書、財産目録、部門内訳表などの帳票が出力できます。また、必要に応じて、ほとんどの帳票はエクセルにも出力できますので、会計データのグラフ化や経営資料の作成など、いろいろなデータ活用が出来ます。

手作業で行う会計処理と大きく異なる点は、各帳票を作成するにあたって、転記や集計計算などが不要ですので、データ入力だけに集中できます。

運用途中で仕訳のミスに気付いた場合、修正仕訳を入力することも出来ますし、入力済みの伝票を直接修正することも出来ます。

平成 20 年改正の会計基準に対応していますか。

公益法人らくらく会計 C4 は、平成 20 年改正の公益法人会計基準に基づく会計ソフトです。新しい会計基準では、収支計算書の作成は求められていませんが、組織内の決算報告などでは、従来通りの収支計算書は必要であると考え、作成ができるようにしています。

また、キャッシュフロー計算書は、非常に大規模公益法人のみに求められている計算書でありますので、このソフトでは作成していません。しかし、支払資金の範囲を現金・預金に狭めて、未収金、未払金等を収支計算書に対応させれば、直接法によるキャッシュフロー計算書は作成できます。

新会計基準では部門の”小計”が必要になりますが、これにも対応していますか。

部門を設定する画面で次のように設定すると、集計区分=2が小計の部門になります。

code	会計の名称	集計区分
1	AA事業	1
2	BB事業	1
3	共通	1
4	公益目的事業会計	2
5	CC事業	1
6	DD事業	1
7	共通	1
8	収益事業等会計	2
9	法人会計	1
10		

部門が多い場合の会計は出来ますか。

一つの階層では、”内部取引消去”部門を含めて最大 20 部門までの会計ができます。もし、20 部門を超える場合は、階層併合のソフトを用意していますので、二階層集計を行うことにより、最大 400 部門(20×20)の会計処理も可能です。

ファイルサーバーにデータを置いて運用ができますか。

”らくらく会計”では、データパス名を次の三つに対応できるようにしています。

相対パス名	例	2009¥
絶対パス名	例	C:¥会計データ¥2009¥
論理パス名	例	¥¥192.168.1.10¥会計データ¥2009¥

通常は、相対パス名を推奨していますが、論理パス名にすると、データフォルダをファイルサーバーに置いて、運用することも可能です。

ただし、この場合の注意事項が二点あります。一つはネットワークの環境に依存しますので、ネットワークの運用に詳しい方のもとで運用してください。他の一つは、部門が異なれば同時入力も可能ですが、同一部門には、同時入力できません。

なお、データをファイルサーバーにおいて運用するだけですので、サーバーパソコンは Windows 以外の OS でも可能ですし、サーバー側にはデータベースエンジンは不要です。

仕訳方式と仕訳の注意点は？

”らくらく会計”は、貸借対照表(B/S)、正味財産増減計算書(P/L)、収支計算書(C/F)を作成しますが、その際の仕訳は、通常の複式簿記の仕訳と同様に**一取引一仕訳**で出来ます。

ただし、C/Fは、自動作成しますので、仕訳を行う場合は、次のような注意点があります。

① 修正仕訳は、マイナス金額で仕訳をしてください。

例) 消耗品費 -2,000 / 現金 -2,000

収支計算書では、総額集計になる科目もありますので、その場合逆仕訳を行うと正しく集計できません。

② 減価償却費や売却損など資金が移動しない取引の場合は単一仕訳で行ってください。

例) 減価償却費 500,000 / 什器備品 500,000

複合仕訳を行うと、相手勘定が支払資金科目である”資金諸口”になり、正常な収支計算書が作成できなくなります。

以上の2点を注意して仕訳入力をしてください。仕訳入力が終わったら試算表の画面を出して、画面下部の次の金額が三表ともに一致しているかどうかを確認しながら運用してください。

流動資産－流動負債 (B/S)	12,386,255
次期繰越収支差額 (C/F)	12,386,255

これは収支計算書の例です。

固定資産の取得の場合でも”切返仕訳”は不要ですか。

”らくらく会計”では、通常の複式簿記と同様に次の仕訳を行うだけで、貸借対照表にも収支計算書にも計上されますので、切返仕訳は不要です。

例) 什器備品 200,000 / 現金預金 200,000

ただし、逆仕訳を行うと、収支計算書では、固定資産売却収入として計上されますので、修正仕訳などで、取得金額を減額させたい場合は、前記の説明のように逆仕訳ではなく、マイナス金額で修正してください。

”らくらく会計”は仕訳入力らくであると聞いていますが、具体的には？

らくらく会計は、科目コード欄で科目コードの上1, 2桁を入れると、科目の一覧が表示されて科目がらくに探せます。また、一度仕訳を行うと、摘要名も含めて仕訳パターンが自動学習されます。さらに、給与支払等の複数行の仕訳は、仕訳伝票のひな型登録も出来ます。

これらにより、使い込むほど、登録したひな形の読み出しや学習箱からの選択で、らくらくと仕訳入力ができるようになります。

単式簿記（現預金の出納帳方式）のような入力も出来ますか。

複雑な仕訳は、会計事務所をお願いして、出納帳方式での入力をしたいとのご要望もありましたので、出来るように対応しています。出納帳方式で入力したデータは、通常の振替仕訳に変換しますので、いつでも通常の振替仕訳に切り替えることができます。

新しい会計基準では、”うち基本財産への充当額”等の科目がありますが、ここへの金額はどのように処理すればよいでしょうか。

”らくらく会計”では、該当科目に補助科目を設定していますので、次のような仕訳を行うだけで、正味財産の部に、（うち〇〇〇〇への充当額）へ自動的に金額が入ります。

借方科目コード 補助科目コード	借方金額 消費税区分	貸方科目コード 補助科目コード	貸方金額 消費税区分	摘要名1 摘要名2
1 12190 ○〇積立資産	1,000,000	11020 現金	1,000,000	
924 一般正味財産				

これにより、つぎのように正味財産の部の”充当額”に金額が自動的に入ります。

30000	Ⅲ 正味財産の部			
31000	1. 指定正味財産			
31080	寄付金	30,000,000	30,000,000	
31990	指定正味財産合計	30,000,000	30,000,000	
32020	（うち基本財産への充当額）	30,000,000	30,000,000	
35000	2. 一般正味財産			
35010	一般正味財産	28,311,487	20,500,000	7,811,487
35020	一般正味財産合計	28,311,487	20,500,000	7,811,487
35040	（うち基本財産への充当額）	5,000,000	5,000,000	
35050	（うち特定資産への充当額）	1,000,000	1,000,000	
39000	正味財産合計	58,311,487	50,500,000	7,811,487
39010	負債及び正味財産の部合計	58,311,487	50,500,000	7,811,487

運用開始までの手順は？

操作に関して

らくらく会計は、体験版ソフトで操作などをいろいろ自由にお試しいただけます。パソコンの操作知識があれば、ソフトの操作については、特に問題ないと思います。

勘定科目の設定

新会計基準で示されているひな形の勘定科目例は、固有名詞の科目ではなく、普通名詞の科目になっています。従来のように、一般会計の中にいろいろな事業会計の科目を設定する科目体系ではなく、事業別の会計は部門として会計処理をしますので、このような方式で運用する場合は、不足する科目を追加するだけで対応できます。

繰越金の設定

前年度の決算書に基づいて繰越金を設定すると、当年度の期首貸借対照表が出来ます。

次年度以降は、新年度更新処理を行うことにより、自動的に繰越金は設定されます。

予算の設定

当年度の予算書に基づいて予算を入力してください。予算は、正味財産増減計算書と収支計算書に入力できるようにしていますが、先に正味財産増減計算書に入力すると、収支計算書の科目には複写できます。

仕訳入力

仕訳入力は、繰越金や予算を入力する前でも出来ますが、繰越金を設定されていると、正しい試算表が作成できます。

年度初めから、運用開始する場合は期首の仕訳から順次入力してください。

年度途中から運用を開始する場合は、期首にさかのぼっての仕訳入力は、たいへんですので、直近の試算表から科目ごとの合計金額を仕訳入力して運用することも可能です。

例えば、8月の試算表の交通費の累計残額 500,000 円であったとすると、8月31日の日付で、次のような仕訳を行います。

交通費 500,000 / 資金諸口 500,000

他の科目についても同様な仕訳を行い、最後に、”資金諸口”を現金や預金科目に振り替えると、9月1日から仕訳入力して運用できるようになります。

入力したデータの確認は、試算表を出して、現金、預金等の残高確認と、財務3表の画面下部の赤枠の金額が一致していることを確認しながら運用してください。

導入指導は必要か？

らくらく会計は、自力で運用を始められるユーザーさまが多いのですが、必要があれば、上記のような導入指導も行っていますので、ご相談ください。

会計事務所で会計指導を受ける場合はどのようにしますか。また、会計事務所にデータを渡している間のデータ入力は可能ですか。

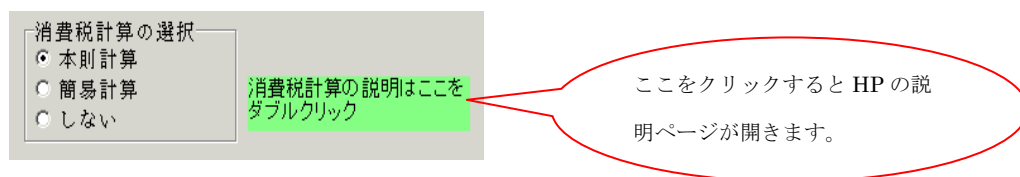
”らくらく会計”では、ユーザー様の会計指導に限り会計事務所でこのソフトの使用ができるようにしています。具体的には次のようにしてください。

例) 6月5日に5月までの指導を受けるために会計事務所にデータを渡して、6月20日に会計事務所からデータが返却されたとします。なお、”公益法人会計 C4”はCドライブに入れて、データパス名は”相対パス名”で運用することを前提として説明します。

- ① ”公益法人会計 C4”のフォルダを会計事務所に渡します。会計事務所に渡している間でもそのままデータ入力は出来ます。
- ② 会計事務所ではこのフォルダをパソコンにコピーします。このフォルダの中には、実行プログラムとデータフォルダが入っていますので、このフォルダの中の実行プログラムを実行してください。
- ③ 会計事務所から”公益法人会計 C4”のフォルダが帰ってきたら、デスクトップにコピーして、このフォルダの中の会計ソフトを実行します。
- ④ 伝票入力⇒補助作業⇒ **期間指定した伝票の読込** を実行して、Cドライブの「公益法人会計 C4」のデータを読み込みます。これで、デスクトップ上の「公益法人会計 C4」のデータは会計事務所から帰ってきたデータ+6月5日以降に入力した伝票となります。
- ⑤ デスクトップ上の「公益法人会計 C4」の元帳等でデータが正しいことを確認して、Cドライブのデータのバックアップコピーを行った後で、デスクトップの”公益法人会計 C4”をCドライブに上書きコピーすると一連の作業は終わります。

消費税の計算も出来ますか。

”らくらく会計”では、次の選択により、簡易計算または非営利法人の本則計算ができます。それぞれの計算は、勘定科目に”消費税区分”を設定して、それに基づいて仕訳をしないといけません。詳しくは、初期設定メニュー ⇒ 会計期首 の中にある緑の部分をクリックして、説明書をご覧ください。



会計ソフトの導入後のメンテナンスや不具合への対応は？

会計ソフトの使い方や仕訳については、電話・FAX・メール等でご相談ください。ただし、難しい会計処理の判断は行政（監督官庁等）または会計の専門家にご相談ください。

ソフトの不具合につきましては、出来るだけ敏速に対応しています。また、ソフトの改善要望につきましてもユーザー様の共通利益となるものは出来る限り実現するように努めています。これらの改善は、当社HPからいつでも最新バージョンにアップできます。

また、2010年より、上図のような**緑枠をダブルクリック**すると、その時点での最新説明が表示出来るように順次整備しています。